



クレド

キリスト教の伝統における信条と信仰告白の歴史的・神学的入門

J.ペリカン〔著〕 本城仰太〔訳〕

信条学研究の決定版！

『キリスト教の伝統』（全5巻、教文館）で知られる教理史家ヤロスラフ・ペリカンの後期の代表作。古代から現代までの信条と信仰告白を歴史的・神学的に研究した記念碑的著作。

「ペリカンのシカゴ大学での博士論文は『（第一）ボヘミア信仰告白』に関するものである。それ以来、彼は信条や信仰告白の歴史に関する学術研究に取り組み続け、他の信条や信仰告白に関するものもいくつか出版してきた。本書『クレド』は2003年の著作であるため、ペリカンの晩年に書かれたものである。それまでの60年間にわたって培ってきた信条や信仰告白の膨大な研究を、「伝統」や「教理史」の観点も踏まえながらまとめたものが本書『クレド』であり、ペリカン自身の研究の集大成であると言っても過言ではないだろう。」（「訳者あとがき」より）

- ❖著者 J.ペリカン (Jaroslav Pelikan, 1923-2006) イェール大学名誉教授。著書に、『キリスト教の伝統——教理発展の歴史』（全5巻、教文館）、『聖書は誰のものか？——聖書とその解釈の歴史』（教文館）ほか。
- ❖訳者 本城仰太 現在、東京神学大学准教授、日本基督教団中渋谷教会牧師。著書 『使徒信条の歴史』（教文館）。訳書 F.ヤング『ギリシア教父の世界——ニカイアからカルケドンまで』（共訳、教文館）。



A5判・上製・784頁・定価9,460円（本体8,600円＋税） ISBN978-4-7642-7495-2 C3016